

バイオ医薬品公開講演会3

2021年 第3回 11月10日 水 15:45-17:00

開催場所：生物・医薬品工学研究センター 共同会議室 K-115、Zoom併用

第1部 富山県立大学の地域定着型高度専門人材育成の紹介 定員50名

富山県立大学「くすりのシリコンバレーTOYAMA」の
医薬品専門人材育成（日本語講演）

講師：米田 英伸 氏（富山県立大学工学部医薬品工学科 主任教授）

本学では、2018年から始まった「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの一員として富山県内の製薬企業への就業を意識した人材育成事業を行っています。今回は、医薬品の中でも需要が増えている抗体医薬品に特化した「バイオ医薬品専門人材育成事業」と、あえて他府県の学生を対象にしている「サマースクール」事業についてご紹介します。



第2部 ドイツにおけるバイオ医薬品とその成功事例 定員50名

「2020/2021年ドイツにおける医薬バイオテクノロジー」
-ドイツにおける抗コロナワクチンの開発など-（英語講演）

Medical Biotechnology in Germany 2020/21-Anti-Corona Vaccine Development in Germany.

講師：ウルリッヒ・ベーレント 博士（Dr. Ulrich Behrendt 氏）

（元ロシュ・ダイアグノスティックス副社長、元ドイツバイオテクノロジー企業協会（VBU）会長）

2019年11月、富山県立大学で「2019年 ドイツにおける医薬バイオテクノロジー -いくつかの現状と課題」と題した講演を行い、ドイツにおけるバイオ医薬品の売上高と市場シェア、有効成分別の認可バイオ医薬品の総数などを紹介し、さらに「製薬バイオテクノロジーの未来はどうか」についても議論しました。

今年の講演では、ドイツにおける新規承認数、バイオ医薬品の臨床試験におけるパイプライン、バイオシミラーの売上高など、最新のデータを紹介します。2020年は、コロナの世界的流行の話題で持ちきりでした。ドイツの2つの企業CureVacとBiontechを例に、パンデミックに対処するためのドイツの考え方を説明し、製薬バイオテクノロジー、特にmRNA技術の未来について議論します。



November 2019, a lecture titled "Medical Biotechnology in Germany 2019 - Some Positioning Remarks" was held at Toyama Prefectural University in which the sales and market share of biopharmaceuticals in Germany, the total number of authorized biotech products by active ingredients were presented. Furthermore, the question was discussed, "What's the Future of Pharmaceutical Biotechnology". With this year's lecture, updated data will be presented: Number of new approvals in Germany, the pipeline in the clinical trials for biopharmaceuticals and the sales of biosimilars. The year 2020 was all about the world's corona pandemic. Using the example of the two German companies CureVac and Biontech, the German input to coping with the pandemic is described and again the future of Pharmaceutical Biotechnology, especially of mRNA technology will be discussed.

ご予約
お問い合わせ

TEL: 0766-56-7500
内線：1561
担当：高井

富山県立大学
「くすりのシリコンバレーTOYAMA」事務室

- ・電子メールでお申込みの方は、氏名、会社名、所属、役職、連絡先、電子メール、希望講演を kusuri@pu-toyama.ac.jpまでお知らせ下さい。 追って、詳細をお送りします。
- ・右記のQRコードからも直接お申込みできます。

